



新病院建設News

No.2



今回の内容

医療センターってどんな病院？

今回は、「医療センターってどんな病院？」をテーマとして、医療センターが開院してからのできごとや、医療センターが担う機能、役割などについてご説明します。

医療センターの沿革

152床で開院

昭和58年
(1983年)

10月 医療センター開院

S59.4 206床

平成5年
(1993年)

4月 ドクターカーシステム
24時間スタート

H6.4 406床

平成6年
(1994年)

2月 A館増築工事完成
5月 救命救急センター発足

H7.4 426床

平成8年
(1996年)

8月 災害拠点病院の指定

平成9年
(1997年)

4月 臨床研修病院の指定

平成13年
(2001年)

8月 C館増築工事完成

平成19年
(2007年)

1月 地域がん診療連携拠点
病院の指定

平成21年
(2009年)

4月 地方公営企業法全部
適用に移行

H22.1 446床

平成22年
(2010年)

1月 緩和ケア病棟開設
3月 地域医療支援病院の承認

H24.8 449床

令和2年
(2020年)

4月 地域がん診療連携拠点
病院(高度型)の指定

※2022年8月1日付、がん診療連携拠点病院等の
整備指針改定に伴い「高度型」の類型は廃止



開院当時の外観



A館建設時の様子



ドクターカー



放射線治療装置



防災訓練の様子



E館の外観



病院全体

数字で見る医療センター

病床数 449床	年間外来患者数 213,834人 (232,986人)	年間外来患者 船橋市民割合 80.4% (81.2%)
年間入院患者数 122,077人 (138,613人)	年間入院患者 船橋市民割合 76.7% (77.4%)	年間手術件数 3,786件 (4,182件)
年間救急患者数 12,790人 (15,308人)	年間救急車受入件数 4,449件 (4,422件)	ドクターカー出動件数 1,674件

出典 ドクターカー出動件数：令和4年度版消防年報 令和3年度実績
上記以外：船橋市立医療センター年報2022 令和3年度実績
なお、新型コロナウイルス感染症の影響があるため参考として令和元年度の実績値をカッコ内に示しています

医療センターの機能や役割

災害医療

災害拠点病院は、災害時に多く発生する重篤救急患者の救命医療を行うための病院です。

医療センターは「**地域災害拠点病院**」の指定を受けており、地震、津波、台風等の災害発生時には、千葉県や船橋市、医師会等と協力しながら災害医療の中心を担います。

また、災害時に活躍するDMAT（災害派遣医療チーム）を保有しており、これまで被災地からの要請を受けて現場に出動してきました。

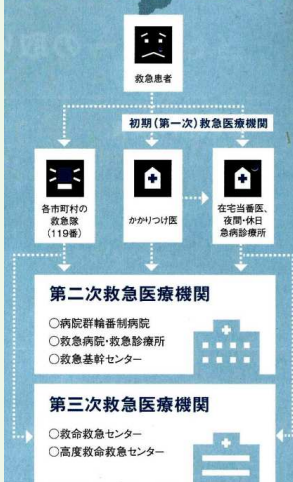
救急医療（救命救急センター）

救急医療は3つの機能に分かれており、「**救命救急センター**」を有する医療センターでは、命に係わる病気やけがなど重篤な患者の受け入れを行う「**第三次救急医療機関**」としての機能を担っています。

また、船橋市消防局・船橋市医師会と連携しドクターカー事業を24時間365日運用しており、日本のドクターカーシステムの先駆的存在となっています。

右図：千葉県HPより

千葉県の救急医療体制



がん診療

千葉県では、質の高いがん医療を身近な地域で確保するために、がん診療連携拠点病院等の整備・機能強化を進めています。医療センターは、東葛南部保健医療圏に3つある「**地域がん診療連携拠点病院**」の一つとして、専門的ながん治療を実践するとともに、地域医療機関連携の中心的な役割を担っています。

地域医療機関との連携・協力

みなさんの健康はひとつの病院だけで守りきれものではなく、地域の医療機関等が協力し合い、役割に応じて連携することで、切れ目のない良質な医療を提供することが可能となります。

医療センターは、第一線の地域医療を担う「**かかりつけ医**」、「**かかりつけ歯科医**」等を支援する「**地域医療支援病院**」として承認を受けており、地域の医療機関等と密接に連携・協力し、みなさまの健康を支えています。



次号のテーマは「なぜ建て替える必要があるの？」を予定しています。

